

誓いの言葉

若い草の芽も伸び、桜咲き誇る春らんまんのこの良き日に、私たち新入生 160 名は、高い志を持って、立命館中学校の入学式を迎えました。これから始まる中学校生活に不安を抱えていた私たちでしたが、今朝、校門をくぐる頃には、新しい知識や仲間を得ることができるという期待感で胸が一杯になりました。

本日は守山市の関係者の方々、ご来賓の皆様をはじめ、学園関係者の方々、諸先生方に温かく見守られる中、このような素晴らしい入学式を挙げて頂きますこと、また、先程からの心強い励ましのお言葉にも、心より感謝申し上げます。

私たちは開校 11 年目の入学生として、昨年までの立命館中学校の歴史と精神を引き継ぎながらも、一新された制服を身にまとい、次の 10 年の始まりの年に入学したという誇りと自覚を持って成長していきたいと思えます。

今日の世界は、地球温暖化や大気汚染を始めとする環境問題を抱えるだけでなく、紛争やテロ問題など、未だ平和には程遠い状況にあります。私たちは、この様な恵まれた環境で勉強ができる事をありがたいと思うと同時に、世界の平和と幸せを願い、より広い、グローバルな視点を育み、課題解決に取り組む力を身に付けていくことが責務だと感じております。地域から学び、世界に発信する、そんな人になりたいと考えています。

昨年は熊本や鳥取を含め、多くの大きな地震が発生しました。昨今の日本は短い周期で大地震にみまわれております。そして近年のうちに南海トラフ地震が発生するとも予想されています。東日本大震災から今年で 6 年が経過し、あの天変地異の記憶が薄れつつあります。しかし、今こそそんな大地震に備えるべく、東日本大震災を教訓とすると共に、こうして生かされていること、中学校に通えることに感謝したいと思えます。

私自身は将来、人や動物を助けられるような仕事に就きたいと思っています。立派な社会人になれるよう、しっかりと勉学に励むと同時に、相手を思いやる心や人間力を身に付け、社会に貢献できる人になりたいと考えています。

私たちは 6 年間あるいは 10 年間かけて、立命館が与えてくださるチャンスを生かしながら、未来を切り拓き、世界に挑戦できる人になれるよう努力していきます。

これから始まる中学校生活の中で、先生方、先輩方に、まだまだ未熟な私たちはご迷惑をおかけすることもあると思えます。時には厳しく、時には温かくご指導くださいますよう、よろしくお願い致します。これからお世話になる方々への感謝の気持ちを忘れずに、私たち新入生は、立命館守山中学校の生徒としての自覚を持ち、夢に向かって成長していくことを誓います。

2017 年 4 月 7 日
立命館守山中学校新入生代表